

平成29年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書  
及び附属明細書並びに財産目録の承認について

事業報告

I. 全体概要

平成29年度の事業計画に基づき、かんしょ・にがうり・いちご・かぼちゃ・らっきょう・ラナンキュラス・スイートピー・デルフィニウム・ピーマン台木等の種苗生産・供給に取り組んだ。

種苗供給実績は、かんしょ・ピーマン台木・スイートピー等が前年度実績に比べて増収となり、いちご・らっきょう・にがうり・かぼちゃ・ラナンキュラスが前年度実績に比べて減収となった。

本年度の種苗供給事業の収益実績額は49,277千円となり、前年度実績に比べて668千円増収となった。また前年度実績比101%(当初計画比99%)となった。

本年度の事業費実績額は65,954千円で、前年度実績に比べて1,061千円増となった。また前年度実績比102%(計画比101%)となった。本年度の原材利用費・資材費等は前年度実績に比べて抑制・減少したが、修繕費・燃料費等が増加したため、本年度事業費は前年度実績に比べて増加した。

その結果、本年度の経常収益は73,220千円となり、経常費用74,103千円を差し引いた本年度の経常増減額は△883千円となった。

II. 業務別事業実績

1. 管理運営に関する事業

1) 総会

第55回定時総会を平成29年6月に、第1回臨時総会を平成29年7月に、第2回臨時総会を平成30年3月に開催し、上程した議案はすべて原案どおり承認された。

[総会の開催]

総会	開催日	場所	議案事項
第55回 定時総会	平成29年 6月27日	J Aビル 501研修室	1. 平成28年度事業実績及び収支決算等の承認について 監査報告 2. 理事の辞任に伴う後任者の選任(案)について(別表-1)
第1回 臨時総会	平成29年 7月28日	J Aビル 503研修室	1. 監事の辞任に伴う後任の選任(案)について(別表-3)
第2回 臨時総会	平成30年 3月26日	J Aビル 501研修室	1. 平成30年度会費及び納入方法(案)について

2) 理事会

理事会を開催し総会付議事項等について審議した。上程した議案はすべて原案どおり承認された。

[理事会の開催]

理事会	開催日	場 所	議 案 事 項
第1回 理事会	平成29年 5月22日	J Aビル 503研修室	1. 平成28年度事業実績及び収支決算等の承認について 監査報告 2. 理事の辞任に伴う後任者の選任 (案) について (別表-1) 3. 規程の改正 (案) について 4. 第55回定時総会の開催 (案) について
第2回 理事会	平成29年 6月27日	J Aビル 501研修室	1. 役付理事の選定 (案) について (別表-2)
第3回 理事会	平成29年 7月12日		1. 監事の辞任に伴う後任者の選任 (案) について (別表-3)
第4回 理事会	平成30年 2月23日	J Aビル 501研修室	1. 平成29年度収支予算の補正 (案) について 2. 平成30年度事業計画及び収支予算 (案) について 3. 平成30年度会費及び納入方法 (案) について 4. 特定資産の取崩 (案) について 5. 平成29年度第2回臨時総会の開催 (案) について

3) 企画運営委員会

企画運営委員会を理事会に先立ち開催し、理事会付議事項及び報告事項等について協議した。

[企画運営委員会の開催]

委員会	開催日	場 所	協 議 事 項
第1回企画 運営委員会	平成29年 5月11日	総合農試 第2会議室	1. 平成28年度事業実績及び収支決算 (案) について 2. 理事の辞任に伴う後任者の選任 (案) について 3. 規程の改正 (案) について
第2回企画 運営委員会	平成30年 2月7日	総合農試 第1会議室	1. 平成29年度収支予算の補正 (案) について 2. 平成30年度事業計画及び収支予算 (案) について 3. 平成30年度会費及び納入方法 (案) について 4. 特定資産の取崩 (案) について

4) 優良種苗生産供給部門別会議

優良種苗生産供給事業を効果的かつ円滑に推進するため、関係機関と連携して、花き部門・野菜部門 (かんしょ部門含む) ・病害虫部門の担当者会議を開催した。

[部門別会議の開催]

部 門	開催期日	場 所	協 議 事 項
花き部門	平成29年 7月6日	バイテクセンター 会議室	・花き優良種苗の予約・供給状況について ・ラナンキュラスの「かぎ芽」による大苗生産について ・スイートピー、デルフィニウムの育種・採種について
	平成29年 12月6日	バイテクセンター 会議室	・バイテクセンター・農試花き部の花き栽培状況について ・花き優良種苗供給実績と計画について ・ラナンキュラスの種苗生産、球根培養について

部 門	開催期日	場 所	協 議 事 項
野菜部門 (かんしょ 含む)	平成29年 7月6日	パイテクセンター 会議室	・野菜種苗生産供給実績及び計画について ・ピーマン台木系統の採種供給計画について ・カラーピーマン新品種の育成状況等について
	平成29年 8月28日	農試畑作園芸支場 会議室	・かんしょ苗生産供給実績及び計画について ・かんしょ新系統等の選定選抜について ・食用・加工用かんしょの品種系統選定について
	平成29年 12月26日	農試畑作園芸支場 会議室	・かんしょ苗生産供給実績及び計画について ・かんしょ品種・系統選抜試験成績及び試験設計について ・焼酎用及び食用・加工かんしょの供給実績について
	平成30年 2月28日	パイテクセンター 会議室	・ピーマン台木系統の採種供給計画について ・にがうり種子の採種供給について ・カラーピーマン新品種育成状況と試験採種について
病害虫部門	平成29年 4月24日	パイテクセンター 会議室	・いちご炭疽病・萎黄病検定、防除計画等について ・かんしょの病害虫防除対策等について ・ラナンキュラスのウイルス対策について
	平成29年 12月4日	パイテクセンター 会議室	・いちご、かんしょの病害虫防除対策について ・ラナンキュラスの病害虫防除対策について ・らっきょうの病害虫防除対策等について

## 5) 監 査

定例の棚卸監査及び帳簿監査が行われた。

監査名	期 日	備 考
棚卸監査	平成30年 4月 2日	平成29年度期末棚卸監査
帳簿監査	平成30年 4月20日	平成29年度期末帳簿監査

## 2. 種苗生産・供給事業

### 1) 園芸作物の優良種苗の生産及び安定供給

#### (1) 宮崎県が育成したオリジナル品種の種苗供給

県総合農業試験場で育成された野菜・花きの品種等について、宮崎県から許諾を受け、種子の採種生産及び供給を行った。

- ①かぼちゃは、「宮崎早生1号」等の供給を行った。近年は供給が減少しているが、本年度実績は776千円、前年度実績比88%（計画比80%）となった。
- ②にがうりは、「佐土原3号」「みやざきつやみどり」等を供給した。本年度実績は6,368千円、前年度実績比87%（計画比80%）となった。
- ③ピーマン台木は、「みやざき台木5号」「みやざき台木3号」等を供給した。本年度実績は3,024千円、前年度実績比170%（計画比194%）となった。
- ④スイートピーは、「紅式部」や「青式部」「美々」等を供給した。本年度実績593千円、前年度実績比126%（計画比109%）となった。
- ⑤デルフィニウムは、近年の供給が減少していたが、本年度実績は1,011千円となり前年度実績比112%（計画比104%）と増収した。

## (2) 栄養繁殖作物の無病苗の供給

かんしょ、いちご、らっきょう、ランンキュラスの無病苗を生産供給した。

- ①かんしょは、「宮崎紅」「コガネセンガン」「べにはるか」等の苗を供給した。本年度実績(合計)は23,152千円となり、前年度実績比116%(計画比113%)となった。  
「宮崎紅」は本年度実績8,262千円、前年度実績比103%となった。  
「コガネセンガン」は本年度実績13,296千円、前年度実績比128%。  
「べにはるか」は本年度実績658千円、前年度実績比99%となった。
- ②いちごは、「さがほのか」等の苗供給を行った。本年度実績3,415千円、前年度実績比81%(計画比77%)となった。
- ③らっきょうは、「らくだ」の種球を供給した。近年供給減が続いているが、本年度実績1,680千円、前年度実績比61%(計画比64%)となった。
- ④ランンキュラスは、県オリジナル品種「ガーネット」「ラズベリル」「ローズクオーツ」等の培養苗を供給した。本年度実績1,947千円となり、前年度実績比71%(計画比71%)となった。

## (3) 優良種苗利用促進事業

優良種苗の安定生産供給技術の確立試験等を行った。

- ①いちごの無病苗増殖技術及び炭酸ガスのハダニ防除技術等の確立
  - ・炭疽病検定を4月実施、無感染を確認。10月に検定で感染疑い2株等廃棄、他は無感染を確認。萎黄病検定でも無感染を確認。
  - ・炭酸ガス殺虫システムで12月・2月・3月に炭酸ガス処理。処理庫内25～30℃を確保、ハダニ成虫から卵まで完全に死滅、高い防除効果を確認。
- ②原料用かんしょの系統選抜及びかんしょ苗の安定生産供給技術の確立
  - ・焼酎原料用「タマアカネ」の新系統選抜試験を畑作園芸支場や現地と連携して実施、系統「NO4」を有望系統として選定。
  - ・食用加工用「宮崎紅」3系統を現地試験で検討した。新系統「T-15」は反収3000～4000kgが見込めるため継続検討。
- ③らっきょう「らくだ」のウイルスフリー種球と現地自種の比較試験等
  - ・ウイルスフリー種球の消毒比較栽培試験実施。最大葉長はストロウ区が長く、葉数は無処理区が多かった。収量調査は次年度6月に実施予定。
  - ・系統選抜試験を畑作園芸支場と実施。最大葉長はポット区と島らっきょう区が長く、葉数は田野区と3年目区が多かった。収量調査は次年度予定。
- ④スイートピー「紅式部」「みやびのかなで」の採種技術の確立
  - ・「紅式部」「みやびのかなで」9月中旬と11月上旬に定植。9月定植区は両品種とも3月まで採種できた。
  - ・「紅式部」を12月、1月、3月の時期別に交配し、3月までに採種が可能で採種時期の早進化を確認。また採種効率が向上。
  - ・結実が容易な「紅式部」の個体選抜で、9月定植区で有望な1株を選抜。
- ⑤ランンキュラスウイルスフリー球根の安定生産技術の確立
  - ・県オリジナル品種等18品種の培養セル苗を11月に3,700本をハウスに定植、かぎ芽用球根を養成。次年度5月に球根掘り上げ調査。
  - ・10品種の球根を9月上旬伏込み10月下旬～11月上旬にかぎ芽育苗状況調査。成苗率は「ラズベリル」95%と最も高く、次に「SC・シュガー」93%。
  - ・12月上旬にかぎ芽増殖苗をハウス内に8品種定植、本圃定植用球根として、次年度5月下旬に球根を掘り上げ調査。
  - ・培養小球根形成の検討し「フェラン」は小球根形成。培養小球根から発芽保存方法等を検討。培養条件を変えて、他品種の球根形成試験継続。

⑥ダリアウィルスフリー苗の安定生産技術の確立

- ・異なる培地組成で発根状況を比較調査。各試験区で置床2週間後に発根を確認、発根用培地は寒天+MS培地NAA0.05ppm添加が適する。又、頂芽部分の発根が不良で全体的に発根苗数が少なく、改めて培地組成試験を実施中。
- ・組織培養苗の親株から分枝した節から挿穂を採り挿し芽して、良質な苗生産が可能か調査。

⑦優良系統・品種の保存管理

野菜2品目4品種、いも類1品目10品種、花き4品目26品種の優良親株の保存管理を行った。

[優良親株の保存]

作目	品目	品種	導入先	導入年	保存形態
野菜	いちご	とよのか	宮崎市	平成5年	フラスコ苗
		みやざきなつはるか	県総合農試	平成25年	フラスコ苗
		こいはるか	県総合農試	平成29年	鉢苗
	らっきょう	らくだ	県総合農試	平成2年	フラスコ苗
		らくだ	都城市	平成5年	フラスコ苗
いも類	かんしょ	宮崎紅	串間市	平成7年	フラスコ苗
		宮崎紅A-3	県総合農試	平成18年	フラスコ苗
		宮崎紅0-61	県総合農試	平成24年	フラスコ苗
		ことぶき	宮崎市	平成8年	フラスコ苗
		コガネセンガン	県総合農試	平成24年	フラスコ苗
		アヤムラサキ	県総合農試	平成24年	フラスコ苗
		べにはるか	県総合農試	平成24年	フラスコ苗
		ジョイホワイト	県総合農試	平成24年	フラスコ苗
		ムラサキマサリ	県総合農試	平成25年	フラスコ苗
		コガネマサリ	県総合農試	平成26年	フラスコ苗
		タマアカネ	県総合農試	平成27年	フラスコ苗
T-15	県総合農試	平成29年	フラスコ苗		
花き	きく	神馬66-4	県総合農試	平成21年	選抜親株
	デルフィニウム	GN89(シウス親)	県総合農試	平成18年	フラスコ苗
		LP93(レグリス親)	県総合農試	平成18年	フラスコ苗
	カンキョウス	ガーネット	県総合農試	平成18年	フラスコ苗
		ラズベリル	県総合農試	平成19年	フラスコ苗
		ローズクオーツ	県総合農試	平成21年	フラスコ苗
		カンキョウス3品種	県総合農試	平成22年	フラスコ苗
		マリティム等4品種	綾町	平成27年	フラスコ苗
		ビュゼ等5品種	綾町	平成28年	フラスコ苗
		カンキョウス・メアリー・ピノ	県総合農試	平成28年	フラスコ苗
		カンキョウス・レッド	県総合農試	平成29年	フラスコ苗
		キティラ	県総合農試	平成29年	フラスコ苗
		ディーニュ	県総合農試	平成29年	フラスコ苗
		ボムロール	県総合農試	平成29年	フラスコ苗
	スプレーカーネーション	ローロ	綾町	平成19年	親株
		ローロレッド	県総合農試	平成19年	親株
ローロピノ		県総合農試	平成19年	親株	

2) 野菜苗の受託育苗

8月～10月に野菜苗（ピーマン、ナス、キュウリ）育苗をジェイエイ・アグリシード㈱から受託して行ない、ハウス施設の有効活用等を図った。野菜苗育苗の受託収入は、本年度実績が6,837千円となり、前年度実績比96%となった。

品 目	数 量
なす苗 (佐土原ナス含む)	26,240本
きゅうり苗	55,689本
ピーマン苗	53,753本
合 計	135,682本

(別表－1)

理事の辞任に伴う後任者の選任

辞任理事		補選理事	
氏 名	役職名	氏 名	役職名
郡司 行敏	前宮崎県農政水産部長	大坪 篤史	宮崎県農政水産部長
加勇田 誠		甲斐 典男	宮崎県総合農業試験場長

任期：平成29年6月定時総会～平成30年6月定時総会

(別表－2)

役付理事の選定

役 職	理 事	
	氏 名	勤務先役職名
副会長理事	大坪 篤史	宮崎県農政水産部長

任期：平成29年6月定時総会～平成30年6月定時総会

(別表－3)

監事の辞任に伴う後任者の選任

辞任監事		補選監事	
氏 名	役職名	氏 名	役職名
森岡 幸一郎	前経済連常勤監事	和田 利男	経済連常勤監事

任期：平成29年7月臨時総会～平成30年6月定時総会